

バクモンドウトウ
ジュンコウ麦門冬湯 F C エキス細粒 医療用

【この薬は？】

販売名	ジュンコウ麦門冬湯 F C エキス細粒 医療用 JUNKOU Bakumondoto FC Extract Fine Granules for Ethical Use
一般名	麦門冬湯 bakumondoto
含有量	本剤は1日量7.5g中、下記生薬（しょうやく）より抽出した水製乾燥エキス（麦門冬湯エキス）6.0gを含有する。 ハンゲ……………5g カンゾウ……………2g タイソウ……………3g バクモンドウ……………10g ニンジン……………2g コウベイ……………5g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、漢方製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、複数の生薬（しょうやく）を組み合わせて抽出された成分からなり、種々の作用をあらわします。
- ・次の目的で処方されます。
痰の切れにくい咳、気管支炎、気管支ぜんそく

- ・この薬は、患者さんの証*にもとづいて使用されます。
*証（しょう）：患者の体質、体調、体力、抵抗力、症状のあらわれ方などを総合的に考慮した、どんな場合に用いたらよいかという個別治療の指針となる漢方独特の考え方。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人では、1日7.5gを2～3回に分けて、食前(食事の約30分前)または食間(食事の約2時間後)に飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。医師からの指示がある場合はそれに従ってください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用することにより、間質性肺炎がおこることがあります。間質性肺炎の初期症状である発熱、咳嗽(がいそう：せき)、呼吸困難などがあらわれた場合は使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。
- ・血清カリウム値を測定するために血液検査が行われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
偽アルドステロン症 ぎあるとすてろんしょう	麻痺および痛み、頭痛、からだがだるい、手足のしびれ、筋肉の痛み、筋力の減退
ミオパチー みおぱちー	筋肉の痛み、筋力の低下、筋肉のこわばり
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、嘔吐（おうと）、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい、筋肉の痛み
頭部	頭痛
眼	白目が黄色くなる
口や喉	から咳、嘔吐、吐き気
胸部	息苦しい、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ
筋肉	筋肉の痛み、筋力の減退、筋力の低下、筋肉のこわばり
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	麻痺および痛み

【この薬の形は？】

形状	細粒
色	淡褐色
識別コード	FC29 

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	麦門冬湯エキス
添加物	トウモロコシデンプン、乳糖水和物

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：康和薬通有限会社

発売会社：大杉製薬株式会社 (<https://ohsugi-kanpo.co.jp/>)

医薬情報部

電話：06-6629-9058

受付時間：9：00～17：30（土、日、祝日を除く）